



治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
山梨県本部

〒400-0047
山梨県甲府市徳行4-3-17
「平和と労働会館」

山梨県版
編集発行人
田中鉄夫
Tel.055-253-9710
Fax 同上

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 山梨県本部第36回総会開催

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟山梨県本部の第36回総会が、5月25日(土)の午後、甲府市富竹の隆泉寺にて開催されました。当日は、県内各支部、地域から会員30名参加しました。

清水里江事務局次長の「良い天気」に恵まれた中での総会開催が喜ばしく、活発な討論を期待する」との挨拶と進行が始まりました。渡辺正彦さんと生松みち子さんを議長に選出し、議事を開始しました。

石原靖子副会長が開会あいさつにたち、「年明け早々能登半島地震が勃発、前途は未だに暗い。早く復興できるように政府に



副会長
あいさつ

強く要望する。5月15日の国会要請行動へ参加して、1,477筆の署名を提出した。県同盟は226名の会員であり、24年度こそ会員と署名の目標をやり遂げよう」と述べました。続けて闘いのなかばで倒れた物故者6名の方へ黙とうを捧げました。

来賓として菅野幹子県議会議員があいさつ。反戦平和、憲法擁護への県同盟活動に敬意を表明し、衆院3選挙区での補選の勝利を力に、戦争する国づくりに突きすすむ岸田政権、自民党政治を終わらせるよう、市民と野党の力を結集することが必要で、がんばっていくことが表明されました。また、豊木桂子新日本婦人の会県本部会長からは、伊藤千代子の映画上映について、県内各地でコッポツと取り組んだことに敬意が表明されました。国民の暮らしの困窮をし

- 私たちの運動の基本方針
- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
 - 一、治安維持法体制の復活に反対する。
 - 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認めること。
 - 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

発言の要旨

り目に裏金問題を引き起こした自民党政治を厳しく批判し、ともに力を合わせようと呼びかけました。

メッセージが国民救援会山梨県本部、山梨年金削減違憲訴訟支援する会、平和・中立・革新の日本をめざす山梨の会(山梨革新懇)、治安維持法同盟中央本部から寄せられ、同盟中央の吉田万三会長のメッセージが読み上げられました。

女性部の活動

これまで続けられてきた「女性部だより」を宝として引き継いでいく。また全国女性部交流会に参加して、ジェンダー平等における女性部活動の意義を確信したこと、山梨母親大会に同盟女性部として



事務局長
議案提案

参加した、また戦争展にも事前学習会も実施して参加した。今後も他団体とも協力・共同していく。「不屈」山梨版に女性部コーナーを設け情報と活動参加の呼びかけを発信していくとしました。

「不屈」山梨の編集

担当者が交代するも、理事会や、同盟員など集団での支えで、定期発行ができたこと、女性部コーナーや「わたしも同盟員です」を新たに新掲載したことが語られ、今後



真剣に討論に集中

は支部や会員の声や活動の様子を豊富に、また県内の闘いの歴史や人々について載せたいとの発言でした。

署名の取り組み

個人署名が1,397筆、団体署名が58筆寄せられ、国会に1,455筆を届けたことが報告されました。会員一人ひとりが署名の協力を通じて、治安維持法の何たるかを知らせることの大切さが語られました。一人15筆集めて3,000筆の目標を達成しようと呼びかけました。

各支部より

中巨摩支部

甲斐市・中央市・昭和町で人口が12万8千人であり、支部結成は大変重要であるとして、準備会を何度も重ね結成した。2か月に1回、支部会議を開催している。学習会の開催や署名をみんまで行っている。また映画「千代子」の上映は、高退協とも

協力して成る功



支部を結成しました

せ、支部結成の

励みになった、今後フィールドワークも取り組みたいとの抱負が語られました。

甲府北部支部

支部結成から3年、毎月役員会を開催し、署名・会員拡大の目標を決めて実践している。4名の仲間を増やした。笛吹市の青楓美術館の見学や3月の治安維持法のビデオ鑑賞を行った。24年度も目標を決めて頑張ると決意が述べられました。

甲府南部支部

支部を結成して、役員で分担して同盟員への連絡が徹底できるようにになった、学習を重視している。署名が全体の取り組みになっっていないが月間を設け訪問を重視する、また入会のパンフレットの中身を身に着けて、数追いの活動にならないようにしていきたいとの発言でした。

郡内支部

役員の高齢化や転居により体制は厳しいが、「千代子」の上映を通じて同盟員の家族など、同盟員を増やしている。困難はあるが、コツコツと活動を重ね仲間増やしを続けていきたいとの発言でした。

北杜支部

2か月ごとに支部会議を開き、取り組みや学習会を計画し、毎回案内を送っている。「不屈」の配達も開始した、さらに会費の100%集金を実施したいとの発言でした。また、市議会への継続的な請願活動が報告されました。

峡東支部結成に向けて

峡東地域からは、支部をつくらうと話し合いを始めることが報告され、

7月14日に峡東支部結成打合せ会員会議を予定しているとの意気高く発言されました。

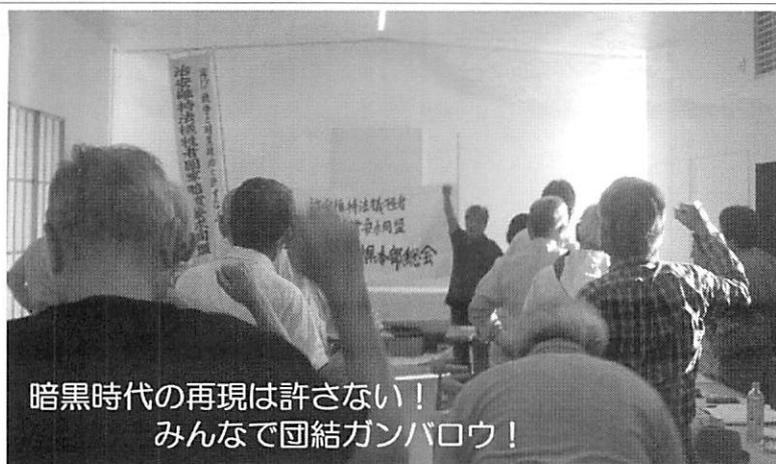


支部づくりをすすめています

同盟員から

地域の同盟員から、各専門分野で力を発揮できる人のリストをつくろう、学習会を開催して方針を発揮できる力を付けていこうとの発言がありました。

また、黙とうへの感謝とともに、若者やこれから生まれてくる幼い命のためにも引き続きがんばって



暗黒時代の再現は許さない!
みんなで団結ガンバロウ!

いきたいとの発言がありました。討論ののち、各議案が満場一致で採択され、特別決議が読み上げられ、全員の拍手で確認されました。新役員を代表して、石原副会長があいさつを行い、全国大会の代議員を選出し、閉会あいさつ、団結がんばろうで総会は終了しました。

2024年度役員 (敬称略)

- 会長 加藤啓二
- 副会長 石原靖子
- 事務局長 田中鉄夫
- 事務局次長 清水里枝
遠藤昭子
- 常任理事 中川量幾
渡辺正彦
杉浦春光
- 理事 岡村進・河野智子
小林義孝・木内直子
佐藤弘・戸田康
生松みち子
- 深沢平助・矢崎勉
- 監事 窪川 茂
- 顧問 石丸あきじ
清水甲一
高取国勝

国会に請願署名を
提出しました

5月15日、遠藤昭子・田中鉄夫が「筆を中島克仁事務所に届け紹介議員をお願い、秘書が「必ず提出します」と言って受け取って下さいました。全国から200人が11万筆の筆を持参しました。



全国から仲間と署名が集結

今年も北海道から「生活凶画事件」被害者菱谷良一さん(102歳)が参加され「治安維持法の被害者として、同盟の一人として声をあげたい」と発言されました。

午前中の集会で吉田万三会長は「本を持っていただけで刑務所へ送られ、庶民が思ったことを話せない監視社会だった。謝罪と名誉回復を求め続ける」と挨拶。

立憲民主党の近藤議員、共産党の宮本・山添議員より激励をいただきました。宮本氏は「政府に賠償させ二度と犠牲者を生まないと云わせる日までがんばりましょう、山添氏は「調査も謝罪も反省もなくきていることが、新たな戦前を生む。止めるために、みなさんとがんばりたい」と話しました。

来年こそは山梨でも目標の3,000筆を集め、各支部や地域からの参加で決着を迫りたいとの思いを胸に帰路につきました。 田中鉄夫

24年度会費

納入よろしくお願ひします

24年度が発進しました。そこで、会費の納入をお願いします。支部でまとめて、集めて県財政部に寄せて下さい。支部に所属していない方は、財政部から案内をお送りします。

